

# 先進地視察

九州新幹線西九州ルート沿線5市ネットワーク会議として、先進地である北陸新幹線沿線（上越市・富山市・金沢市・高岡市・黒部市）や北海道新幹線・秋田新幹線沿線（秋田市、青森市、北斗市）、駅部開発を行っていた大分県及び日向市駅周辺整備事業を視察しました。駅周辺整備や二次交通、開業後の乗降客数の推移、事業費、まちづくりの取り組みなどについて説明を受け、意見交換を実施。新幹線開業を契機とした市街地一体化や観光振興、交通結節機能の強化などの先進事例を学び、九州新幹線西九州ルート整備に向けた課題と施策検討の参考としました。

2014年10月29日～10.31



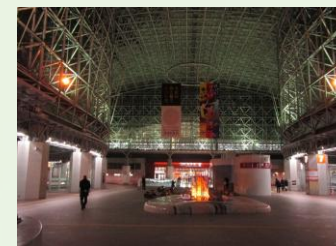
2015年11月4日～11月6日



## 北陸新幹線沿線地域

北陸新幹線（長野・金沢間）は、1997年に開業している高崎・長野間に続き、長野駅と金沢駅を結ぶ延長約228kmの路線で、2015年3月14日に開業しました。当初は一部区間をスーパー特急方式で着工しましたが、その後全区間がフル規格で建設されました。これにより首都圏と北陸間の所要時間が大幅に短縮され、経済や観光などの交流拡大を通じて地域の発展へ貢献しています。

2018年2月13日～2月15日



# 先進地視察



## 北海道新幹線・秋田新幹線沿線地域

1997年3月開業の秋田新幹線や、2016年3月開業の北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）の沿線地域では、開業に合わせて駅周辺整備やまちづくりを進めるとともに、プロモーションや開業イベントなど、開業効果を最大化するためのさまざまな取り組みが行われています。

## 大分駅・日向市駅周辺地域

日向市駅（宮崎県日向市）ではJR日豊本線の連続立体交差事業に併せ、日向市駅周辺土地区画整理事業等が行われ、駅前広場（東口・西口）が整備されています。

大分駅（大分県大分市）では、JR日豊本線、豊肥本線、久大本線の連続立体交差事業に併せ大分駅南土地区画整理事業等が行われ、駅前広場（北口、南口）、シンボルロード（大分いこの道）などが整備されています。

